

* 注意 これは問題用紙です。解答用紙は別にあります。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

終了時間がきたら、解答用紙を裏返しにして室外へ出なさい。

【問題一】次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

本来、希望は、時間という貴重な「シゲン」に恵まれていることが多い若者こそ、持ちやすいものです。希望の可能性を信じて、未来に向かって挑戦する若者たちの姿は、①かりにそれが失敗に終わつたとしても、社会に元気を与えてくれます。そんな若者たちの挑戦から、社会を切り開いて革新や創造が生まれます。そう考へると、一九九〇年代以降、開塞感が広がつたり、希望の持てない社会になつたといわれるようになつた背景の一つが想像できます。急速な高齢社会の進展です。

国際連合（国連）の「定義によれば、「高齢社会」とは、全人口に占める六十五歳以上の割合が四%を超えた社会を意味します。日本が高齢社会に突入したのは、一九九四年です。よく似た言葉で「高齢化社会」という言葉があります。六十五歳以上の割合が全人口の七%を超えると高齢化社会と呼ばれます。日本は一九七〇年にはすでに高齢化社会となっていました。

【A】日本は高齢化社会から高齢社会に突入するのに、わずか二四年しか、かかっていない計算になります。これだけ急速に高齢社会となつた先進国は他にありません。米国とオーストラリアでは七二年、英國では四六年、ドイツでは四〇年かかっています。（国立社会保障・人口問題研究所による二〇一〇年報告）。

高齢社会は、若者の②相対的に少ない社会です。【※】を持つことの多い若者の比率が、過去に⑤類のないほど急速に減つていったわけです。多くの人々が希望を持てない社会になつた感じるようになつたのは、無理のないことだったのです。

【B】日本が高齢社会になつたこと自体は、けつして悪いことではありません。生活が豊かになり、医療などの技術や体制が以前に比べて整備されたことで、多くの方がより長生きできるようになつたことが、高齢社会を実現させました。（④日本の平均寿命が世界のなかでも抜きん出で長いという事実は、「ボゴラシ」といいます）

ただ一方、高齢社会を加速させている要因として、歯止めがきかない少子化というもう一つの現実があります。合計特殊出生率といわれる、一人の女性が一生に生む子どもの数が二・〇八を下回る状態が続くと、人口減少が進むといわれています。日本では二〇〇五年から人口の自然減少が始まっています。（二〇〇五年に一・二七だった合計特殊出生率は、その後いくらか回復しました。ただ、原因は主に第二次ベビーブーム世代が出産過盛期となつた、あくまで一時的なものでした。

そのために今後は、【C】少子化が進んでしまうことが心配されています。少子化がさらなる少子化を引き起こすのです。

人口という面から社会に【※】を取り戻すには、なんといつても子どもを生み育てやすい社会を実現し、少子化に歯止めをかけることが重要になります。そのためには、子どもを持つことによる不安を感じないすむような社会づくりが大切です。将来が不安や心配」とばかりではなく、とても子どもを欲しいという気持ちになられません。保育や就学施設の充実の他、子どもを社会全体で育てる環境づくりを進めることができます。（⑥希望を持つ社会づくりの一場であることは、まちがいありません）

【問題二】次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

（玄田有史「希望のつくり方」より）

問一、―― a ものの漢字は読みに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二、【A】、【B】、【C】にあてはまる語として適當なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア もらうん イ つまり ウ そして エ では オ さらに

問三、―― ①「かりにそれが失敗……与えてくれます」と筆者が考える理由を、本文中の語句を用いて答えなさい。

ア 立体的 イ 主体的 ウ 絶対的 エ 後退的

問四、―― ②「相対的」の対義語を次から選び、記号で答えなさい。

ア ③「類のない」の本文中の意味を次から選び、記号で答えなさい。

問五、【※】に入る同じ語句を、本文中から一字で抜き出しなさい。

ア 似たような事柄、事例 イ 前例のない事柄、事例 ウ 参考にすべき事柄、事例 エ 全く参考にならない事柄、事例

問六、―― ③「類のない」の本文中の意味を次から選び、記号で答えなさい。

問七、―― ④「日本の平均寿命が世界のなかでも抜きん出で長い」とあるが、その原因は何か、解答欄に合うように答えなさい。

問八、―― ⑤「合計特殊出生率は、その後いくらか回復しました」とあるが、その理由を次から選び、記号で答えなさい。

ア 第二次ベビーブーム世代の人たちを対象に、社会全体が保育や就学支援の充実を図つたため。

イ 第二次ベビーブーム世代の人たちが出産過盛期となり、一時的に増加傾向となつたため。

ウ 第二次ベビーブーム世代の人たちに子育て支援の対策が充実されたため。

問九、―― ⑥「希望を持つ社会づくりの第一歩」とあるが、筆者はどのような社会づくりが必要と述べているか、本文中から二十二字で抜き出し、最初と最後の三字を答えなさい。

ア 希望を取り戻すためには高齢化社会をまず優先的に解決する必要がある。

イ 若者が希望を抱くためには少子化に歯止めをかけ、子どもを社会全体で育てる環境づくりが必要である。

エ 日本の少子化現象については二〇〇五年以降、回復傾向あり、より充実した社会づくりが求められる。

【問題二】次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

本文は、大雨が原因でディズニーシーに入ることができず泣いている男の子に、従業員である「後藤」が声をかけている場面である。また、後に出でてくる「由美子」は「後藤」の同僚である。

ゲート前では泣いている男の子がいた。中に入りたいよ。ミッキーいるかどうか、入らないとわからないじゃん

後藤はその子供に近づいていた。笑顔をつとめながら声をかける。「ここにちは。だいじょうぶ。シーエントラットか?

【A】母親は①恐縮したような顔を後藤に向けると、男の子に告げた。「ほら。お兄さんたちも『アヤマつてるじゃない。きょうは仕方がないの。ミッキーさんもいないから』

「やだよ」男の子はぐずつた。「中に入りたい。ミッキーいるかどうか、入らないとわからないじゃん」

「トゥーンタウン?」男の子は後藤を見かえした。「ディズニーランドのトゥーンタウンにいるの?」

【B】後藤は興奮をかいだ。どう答えるべきだろう。ランドのほうはまだ閉鎖のアナウンスはでていないが、母親はあきらかに帰りたがっている。Eバレーも花火も中止など、いろいろに、いまから豪雨のなかをランドに向かうところで、さしたる喜びもない。しかし、営利がすべてに「Eウェイ」するわけではない。そう後藤は思った。

母親は②恐縮したような顔を後藤に向けると、男の子に告げた。「ほら。お兄さんたちも『アヤマつてるじゃない。きょうは仕方がないの。ミッキーさんもいないから』

母親は後藤に③目くばせした。後藤の戸惑いは、さら深まった。

この母親が子供を嘘ついているのはあきらかだった。ミッキーが駅にいる、そういう子供を、帰路につかせようとしているのだろう。だが後藤は、彼女を嘘つきにしたくなかった。子供はやがて、悲しまることになるだろう。母に怒りをぶつけたがる。そんな状況を見過ごすわけにはいかなかつた。

【C】「お母さん」後藤はいった。「④まさかにさつき、ミッキーはお帰りになるゲストを見送るために駅に立ち寄りましたけど、いまは雨も強くなつたんで、家に戻つてます。ふだんはミート・ミッキーでゲストを家に迎え入れてて、この雨じやガストに迷惑がかかるつていうんで、ミッキーはミートと一緒に休んでます」

後藤は男の子に向き直つた。「ねえ、お兄さんのお願い、きいてくれるかな。ミッキーはきみと一緒に、晴れ渡つた空の下で一緒に遊びたがつて。こんな日じや、楽しく遊べないつて落ちこんでるよ。きみが風邪をひいたりしたら、ミッキーもきっと悲しむ。だから、晴れた日にもういちど会おうよ。ミッキーもきっと待つててくれるべ

男の子はしばし後藤を見つめてから、つぶやくようになってきた。「ほんとに?」

「ほんと。お兄さんが約束するよ」

しばらくのあいだ、男の子はまだ⑤ためらうようなく素振りを見せていましたが、やがて吹つきたように微笑を浮かべると、じやあまた来る、そういう駅方面へと駆けだした。

⑥母親はあわててわが子を追いながら、後藤をちらと振りかえり、頭をさげた。

その場にたたずんで母子が立ち去るのを見送つていると、由美子が後藤に近づいてきた。

「たいした成長ね。ガンジンしちゃつた」

「なにが?」

「あなたのことよ。お母さんとあの子を不仲にしないように、うまく取り持つたじゃない。きのう、シンデレラ城の出口で男の子の頭をわしづかみにしてた人とは思えないわ」

後藤は由美子の指摘に面食らつた。たしかに、⑦自分のなかの変化には驚きを覚える。だが、同時にそれが当然のことのようにも感じられる。ここで働いていれば誰でも使命を抱くはずだ。

*1 インパーカー……ディズニーシーに入場すること *2 舞浜駅……ディズニーシーの最寄駅

（松岡圭祐「ミッキー・マウスの憂鬱」より）

「あなたのことよ。お母さんとあの子を不仲にしないように、うまく取り持つたじゃない。きのう、シンデレラ城の出口で男の子の頭をわしづかみにしてた人とは思えないわ」

ア 助言を開き入れない男の子にイラしたから ウ 母親の困った様子に共感し、汗がにじんだから エ どうにもできず今にも泣き出しそうな顔

問五、―― ①「恐縮したような顔」とはどういう顔か。次から選び、記号で答えなさい。

ア 不審な男が話しかけてきたことを怖がっているような顔 イ ありがたさと申し訳なさの入り混じった顔 ウ 母親の困った様子に共感し、汗がにじんだから エ どうにもできず今にも泣き出しそうな顔

問六、―― ②「僕」とはだれを指すか。次から選び、記号で答えなさい。

ア 男の子 イ 後藤 ウ ミッキー エ 従業員

問七、―― ③「後藤は頭をいた」とあるが、それはなぜか。理由を次から選び、記号で答えなさい。

ア 助言を開き入れない男の子にイラしたから ウ 母親の困った様子に共感し、汗がにじんだから エ どうにもできず今にも泣き出しそうな顔

問八、―― ④「母親は『目くばせ』で、母親は『目くばせ』で、母親は『目くばせ』で」と何を知らせたのか。次から選び、記号で答えなさい。

ア ミッキーに会いに一緒に舞浜駅に行つてほしいという願い イ 舞浜駅にミッキーがいると話を合わせてほしいという願い ウ シーではなくランで行くよう説得して欲しいという願い エ ミッキーに会うためにインパーカーさせて欲しいという願い

問九、―― ⑤「たしかに……休んでます」とあるが、後藤がこのように言つた理由として適当でないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 男の子を嘘つきにさせないため ウ 母親を嘘つきにさせないため イ 男の子を悲しませないため エ 母親を困らせないようにするため

問十、―― ⑥「ためらうような」とあるが、男の子は何をためらつてているのか。答えなさい。

ア 母親はあわてて……頭をさげた」とあるが、母親が頭を下げたのはなぜか。理由を答えなさい。

① 彼は私をいつも待たせる。 ↓ 「私」を主語にして書き換えなさい。

② 先生が教室に来る。 ↓ 尊敬表現に書き換へなさい。

問三、―― ⑦「母の部首名をひらがなで答えなさい。

① 痘 イ 列 エ 对句法

② 湿口知新

問四、―― ⑧「次の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

① 痘 イ 列 エ 对句法

② 湿口知新

問五、―― ⑨「次の漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

① 痘 イ 列 エ 对句法

② 湿口知新

問六、―― ⑩「自分のなかの変化」とは後藤のどのような変化か。後の空欄に合うように本文中の語句を用いて答えなさい。

ア 日本は先進國の中でも比較的の短期間のうちに高齢化社会に突入してしまつた。

イ 希望を取り戻すためには高齢化社会をまず優先的に解決する必要がある。

ウ 日本の少子化現象については二〇〇五年以降、回復傾向あり、より充実した社会づくりが必要である。